

令和7年度 運営方針 の策定に向けて



目次

- 今回の区政会議で主にご意見をいただきたい項目 … 3ページ
- 平野区運営方針とは … 4ページ
- 令和7年度の基本的な考え方 … 5ページ
- 経営課題1 安全・安心のまちづくり … 6ページ
- 経営課題2 みんなで支えあう福祉のまちづくり … 10ページ
- 経営課題3 こどもが元気で育つまちづくり … 14ページ

今回の区政会議で 主にご意見をいただきたい項目

経営課題 1 安全・安心のまちづくり



【令和6年度の具体的な取組】

- 各地域における「地域防災リーダー」代表者を対象とした連絡会の開催
- 各地域での防災訓練・情報伝達訓練の支援
- 防犯カメラの設置
- 青色防犯パトロールによる巡視
- 自律的な地域運営への支援（中間支援組織を活用した会計処理の支援）
- 未利用地の有効活用

MEMO

今年度の取組を記載しておりますので、
各経営課題を解決するために、
次年度はどのような取組が有効かなど、
令和7年度平野区運営方針の策定に向けて、
ご意見をお願いいたします！

平野区運営方針とは

将来ビジョン

➤ 平野区のめざす将来像

笑顔輝くまち ひらの

➤ 将来像の実現に向けた施策（まちづくり）の方向性



経営課題 1 安全・安心のまちづくり

- ・ 地域防災力向上に向けた支援
- ・ 地域防犯力向上に向けた支援
- ・ 地域活動力向上に向けた支援
- ・ まちの魅力の向上に向けた未利用地の有効活用



経営課題 2 みんなで支えあう福祉のまちづくり

- ・ 各地域の特性に応じた地域福祉支援体制の充実
- ・ 地域における支えあい活動への支援



経営課題 3 こどもが元気で育つまちづくり

- ・ 児童虐待防止・早期発見への取組や子育てに悩む親への支援
- ・ こどもの学習意欲の向上
- ・ こどもたちへのサポートや学校生活の定着支援



運営方針 → 将来ビジョンで示された施策展開の方向性に従って
年度ごとの施策・事業の取組みを明らかにする
単年度ごとのアクションプランのことを言います。

令和7年度の基本的な考え方

平野区では、将来ビジョンで掲げる「笑顔輝くまち ひらの」の実現を目指し令和7年度は、次の施策を積極的に進める。

- ✓地域の自助・共助の大切さを呼びかけながら、近年増加傾向にある大規模災害などに備えた**防災力の強化**を図る取組を進めていく。
- ✓すべての人が地域で安心して暮らしていけるよう、「**住民同士のつながりづくり**」「**地域全体での見守りの充実**」「**たくさんの人や関係団体が連携・協力できる地域活動のネットワークづくり**」のための取組を進めていく。
- ✓こどもたちの健やかな育みを支えるため、こどもたちが「生きる力」を身につけ、自分らしくいきいきと成長していけるよう、**切れ目のない施策**を進めていく。
- ✓孤立した家庭環境や保護者が抱える不安の中で、児童虐待が深刻化しており、**虐待を未然に防ぎ、深刻化させないための対策**をより一層強化していく。



経営課題 1 安全・安心のまちづくり



課題認識

- ① 災害発生時に、住民同士の助け合いによって防災活動が行えるよう「**自助・共助**」を推進していく必要があり、基盤となる地域でのつながりを深めるためにも、住民参加の防災活動を地域主体で実施できるよう支援していく必要がある。
- ② こどもや女性が被害者となる犯罪は後を絶たず、高齢者を狙った特殊詐欺の被害は深刻な情勢が続いている。安全で安心して暮らせるまちを実現するため、**地域ぐるみで、犯罪などの防止に取り組む**必要がある。
- ③ 各地域活動協議会の自律運営を実現するためには、**地域の実情に即した効果的な支援**を行う必要がある。さらには、地域活動の新たな担い手発掘、育成の必要がある。
- ④ 区内には市営住宅建替え跡地や、もと小学校など40か所、約16ha（令和6年8月1日時点）の**未利用地があるため、有効活用を図る必要がある**。

経営課題 1 安全・安心のまちづくり

主な戦略

- 「自助、共助」の推進のため、地域住民などで構成される自主防災組織の主体的な防災活動実施の支援
- 地域全体で犯罪を発生させないような環境づくりの推進
- まちづくりセンターを活用した地域活動協議会の支援
- 各地域で花苗を育て地域の緑化に取り組み、また、こどもから高齢者までの幅広い年齢層が交流できるよう支援
- 社会情勢の変化等に注視し、地域課題・区民ニーズ等を踏まえた未利用地の有効活用



◀ 地域防災リーダーによる学校での防災授業。
各地域の防災訓練や小中学校での防災授業等
の実施を支援しています。



▲ 未利用地の有効活用の検討を
進めています。



◀ 特殊詐欺防止防犯啓発キャンペーンの実施。
区と連携協定を締結しているラグビーチーム、レッド
ハリケーンズ大阪の選手と平野警察署が合同で、
三菱UFJ銀行平野南口支店にて被害防止を呼び
かける啓発活動を行いました。

経営課題 1 安全・安心のまちづくり



【令和6年度の具体的な取組】

- 各地域における「地域防災リーダー」代表者を対象とした連絡会の開催
- 各地域での防災訓練・情報伝達訓練の支援
- 防犯カメラの設置
- 青色防犯パトロールによる巡視
- 自律的な地域運営への支援（中間支援組織を活用した会計処理の支援）
- 未利用地の有効活用

MEMO

経営課題 1 安全・安心のまちづくり

【これまでにいただいた主なご意見】

- 防災訓練や地域の行事に多くの人に参加してもらえるよう、今まで関わっていない人や町会に加入していない人へ向けて、区役所からの広報活動を充実させてほしい。
- 防犯カメラを新設するだけでなく、古いカメラの更新もしてほしい。設置されていても古くて壊れているものなどがある。
- 令和5年度の平野区での特殊詐欺被害防止電話機の貸与件数が186台というのはい少ないように感じるが、もっと増やしていけないものか。
- 町会加入するデメリットのほうが目につくので、いかにメリットをアピールしていくかが必要だと思う。若者を取り込む方法を考えないといけない。



経営課題 2 みんなで支えあう福祉のまちづくり



課題認識

多様な生活課題を抱える方々が孤立することなく、こどもから高齢者まで、障がいの有無に関わらず、住み慣れた地域でお互いに支えあいながら暮らしていけるよう、「住民同士のつながり」「地域全体での見守り」「たくさんの人や団体が協力できる地域のネットワークづくり」のための地域特性に応じた支援体制が必要である。

また、高齢化に伴い、健康寿命延伸の取組を広げる必要がある。

平野区の特性を踏まえて、地域保健福祉を推進するため、「すべての人と人がつながり、支えあうまち平野」をめざして

みなさんの心と力を合わせて、取り組んでいきましょう!!

1期・2期は 何したん?

1期・2期は、みんながつながり支えあうことができる環境づくり

第1期 地域住民のみなさんがいつまでも安心して暮らし続けることができるまちづくり

第2期 地域福祉を推進する上で重要な「保健」「防災」との連携を行いながら、日頃より社会から孤立しない・させない「みんなが支えあう福祉のまちづくり」

第3期 地域福祉を推進する上で重要な「保健」「防災」との連携を行いながら、日頃より社会から孤立しない・させない「みんなが支えあう福祉のまちづくり」

3期では 何するの?

どうして「保健」が重要なの? まずは「健康」があってこそ、地域福祉の推進です。そして「保健」が支えあうための土壌を育てます

基本目標 1 つながり

目ったときに支えあえる住民同士のつながりづくり

基本目標 2 見守り

こどもから高齢者まで地域全体で見守り支えあう仕組みの充実

基本目標 3 人材・社会資源

様々な取組の中でたくさんの人や団体やボランティアが連携・協力できる地域活動ネットワークづくり

高齢者がいつまでも安心して暮らし続けることができる平野区をめざして

介護や福祉など専門職の方へ頼る仕組みがあったら...

つながりの居場所づくり

認知症

障がいのある人もない人もみんなが支えあえる平野区をめざして

理解促進

地域・社会参画

安心して暮らす

相談支援

生活しづらい、理解してもらえない...

安心して相談してください! *

平野区障がい福祉科相談支援センター 6797-6691

障害者いっしょの家への支援は エルムおおさか 6797-6931

自助

生活の中で困ることがあっても、自分自身で解決できること

公助

福祉サービスに頼ることもできる

共助(互助)

住民同士が助けあうこと

新たな共助

企業・NPO・市民団体の協力を活用

安全で安心な平野区をめざして ～「気にかける」地域づくり～

セーフティネット構築

地域力アップ

こども・子育てをみんなで支えあえる平野区をめざして

妊娠前から切れ目のない子育て支援体制の強化

こどもサポートネットワーク

子育て支援のネットワークづくり

相談支援

こどもの発達や生活に関する悩み事があったら、関係機関や行政に相談しよう。

児童虐待

虐待防止に関する相談窓口

児童虐待の相談、通告を24時間対応

24時間児童虐待相談センター 0120-01-7285

24時間児童虐待相談センター 0120-01-7285

24時間児童虐待相談センター 0120-01-7285

～平野区にかかわるすべてのみなさんと一緒に～

協働・連携

協働・連携

協働・連携

あきらめる「つながり」を大切にできる平野区へと、お互いに支えあひながら地域保健福祉計画の推進を!

経営課題 2 みんなで支えあう福祉のまちづくり

主な戦略

- 平野区を取り巻く様々な福祉課題に対し、「平野区地域保健福祉計画（第3期）」に沿って、中長期的視点で安定的かつ継続的に取り組む
- 地域での福祉活動を中心的に担う「地域福祉活動コーディネーター」が地域の福祉活動の担い手とともに、各地域において、平野区社会福祉協議会をはじめ、専門支援機関などとの連携を図りながら見守りや相談ができる体制を機能させることによる地域福祉力の向上
- 住み慣れた地域で自分らしくいきいきと活躍するための運動習慣や、認知症の発症を予防（遅延）する取組の支援

「ひらの百歳☆きらめき講座」が始まりました！

百歳体操に参加するだけで、自然と健康になり認知症も予防できる場に！

いきいき百歳体操 + **ひらの百歳☆きらめき講座**

全78講座!!

運動・身体活動 社会活動・交流 認知トレーニング
疾病管理 栄養・食事 高齢者の生活の安心

関係機関・企業等から様々な専門職が出向いて認知症予防等につながる講座を行います！

講座の一例

訪問看護ステーション	医療機関	薬局
平野警察署	平野消防署	ラグビーチーム レッドハリケーンズ大阪

現在、区内23か所の百歳体操の場で順次開催しています。

経営課題 2 みんなで支えあう福祉のまちづくり



【令和6年度の具体的な取組】

- 区社協や関係機関と連携しつつ、地域の見守りなどの地域支援体制の充実
- つながりづくりや支えあい活動の好事例について、区社協と連携しつつ情報発信
- 「いきいき百歳体操」において、サポーターの養成ならびに、サポーターや参加者がモチベーションを持って体操を継続できるよう、長年活動を継続しているグループを表彰
- 「いきいき百歳体操」を通して、さまざまな関係機関と連携した認知症予防や健康に関するミニ講座を提供する等、地域で楽しく健康情報を受け取れるよう支援
- 障がいのある方や認知症の方、その家族などが安心して暮らし続けることができるよう、理解促進のための取組

MEMO

経営課題 2 みんなで支えあう福祉のまちづくり

【これまでにいただいた主なご意見】

- 市営住宅など高層住宅が増えて近所付き合いが希薄になってしまったと感じる。
- 地域と介護事業者などの連携が必要だと思う。支援が必要な方の対応などについて、話し合いや交流ができる場を区役所がコーディネートしてつくってほしい。
- 民生委員や地域活動の担い手が不足しており、若い人でもやってみようと思えるような方法を考えていかないといけない。
- 地域での見守り活動はボランティアとして活動しているので、あまり負担にならないように、地域包括支援センターや社会福祉協議会のような専門機関にもっと対応してもらいたい。
- 地域福祉活動コーディネーターや地域包括支援センターの活動を知らない人が多いと思うので、もっと周知が必要だと思う。福祉や介護のことをより区民に知ってもらえるようにホームページや広報紙などでもっと情報発信を強化してほしい。



経営課題 3 こどもが元気で育つまちづくり



課題認識

- ① 平野区では非常に多くの要保護児童（虐待リスクのある児童）が登録されており、「重大虐待ゼロ」をめざし、「未然防止」「早期発見」「早期対応」の3つの観点から体制を充実させる必要がある。
- ② 生活困窮度の高い子育て世帯においては、複合的な家庭問題を抱えている事例も多いため、学校における教育分野の支援と区役所における保健福祉分野の支援を連携し、総合的な支援を実施する必要がある。また、高校中退の問題についても、区内の府立高校との意見交換会において深刻な状況が報告されているため、高校生活の定着支援に取り組む必要がある。
- ③ こどもたちが経済的な理由や家庭環境に左右されることなく、魅力や個性を伸ばし、学習習慣の定着を通じて「生きる力」を身につけることができるよう、こどもたちの学びを支援する必要がある。

経営課題 3 こどもが元気で育つまちづくり

主な戦略

- ・ 児童虐待防止・早期発見への取組や子育てに悩む親への支援
- ・ 複合的な課題を抱える子育て世帯に対する総合的な支援と高校生活の定着支援
- ・ 読書運動や清掃活動など、様々な活動に対する表彰や学力サポート事業の実施



▲がんばる小学生・中学生区長表彰。日常や学校生活において、年間を通じて児童・生徒が継続的にがんばったこと、学校長が認めた顕著な功績・功労あるいは模範となる善行について区長表彰を行うことにより、自尊心の向上を図っています。



◀こども学力サポート事業。主に放課後の時間帯に、図書室や指定された教室などで、宿題や授業のフォロー、算数や国語などのプリント学習をはじめとした、教材を活用した学習指導、質問への対応などを中心とした学力のサポートを行っています。



◀子育て支援情報「ひらの子育てのWA! 情報」発行のほか、区ホームページや大阪市LINE公式アカウント・facebook等のSNSと併せて、子育て情報の発信に取り組んでいます。

経営課題 3 こどもが元気で育つまちづくり



【令和6年度の具体的な取組】

- 子育て支援関係者のスキルアップ講演会を開催
- 区役所と地域及び学校との連携をより密にすることで、「要保護児童対策地域協議会」の機能を強化
- 楽しく子育てできるような情報の発信
- 読書ノートを区内小中学生及び就学前（3～5歳）の児童に配付
- 区内市立小学校の児童を対象に国語・算数等の学習支援（こども学力サポート事業）
- こどもサポートネットの効果的实施
- さまざまな理由で不登校に陥るおそれのある高校生への個別支援（ひらの青春生活応援事業）

MEMO

経営課題 3 こどもが元気で育つまちづくり

【これまでにいただいた主なご意見】

- 学力サポート事業をはじめとする様々な事業が行われていることを多くの保護者は知らないと思うので、保護者への周知にも力をいれたらどうか。
- 読書ノートの目標達成のために多くの本を読むことも一つの方法だが、アウトプットのきっかけを持ち、こどもたちの考える力や続ける力を伸ばすことも重要だと思う。
- 家庭ごとにしてほしい支援も違うと思うので、もっと潜在的な要望や意見を聞いてくれる場があればありがたいと思う。
- 学校と地域が教育、福祉、防災、防犯などの縦割りではなく、横のつながりで連携することが大事だと感じる。様々な取組で一体となって、こどもたちの成長を支えていくことがこどもたちの学習及び意欲向上にもつながると思う。

